

愛知県 大同大学大同高等学校

おはようございます。大同演劇部です。

私たち大同演劇部は、個性の強い人間ばかりで、一つにまとめるのがたいへんです。ですが、その分とても刺激的です。それに、それぞれの強い個性が登場人のキャラと合ったとき、大同らしい芝居ができると思っています。

今回、中部大会という晴れ舞台で再演できる事を、大変うれしく思います。とにかく、私たち大同演劇部は芝居をする事が何よりも好きで、何回でも舞台に立ちたいと思っているからです。

軽快なテンポの会話と話の展開の面白さで、観客の皆さんを魅了し、たくさん笑ってもらって、皆さんと一緒に素敵な舞台が創れたらと思っています。

【上演作品】

『ト音』（【原作】春陽漁介 潤色：大同大学大同高等学校 演劇部）

高校2年生の部員の藤くんと秋男くんは大の仲良しで、2人だけの新聞部員。みんなに新聞を読んでもらいたくて、熱心に編集会議を重ねる日々。ある日、先生達のウソを暴く記事を書いたらみんなに読んでもらえるのではと、取材を進める。しかし、取材を進めるうちに、話は思わぬ方向へ・・・

【学校紹介】

私たちの通う大同大学大同高等学校は、名古屋市の南にあります。ちょうど60年前の9月26日に襲来した伊勢湾台風で、甚大な被害を受けた地域にあります。今年が伊勢湾台風60周年ということで、本校では地域の防災セミナーや避難訓練などに参加し、また、多くのマスコミで報道されました。当時、出来て半年の鉄筋4回建ての校舎の1階は全て水没。2階以上は避難所に使われるなどしました。下の写真は、被災直後からの先輩達の救援活動を記念して建てられた「愛と力の筏像」という銅像です。流木を組んで筏にし、被害に遭われた人の救助や物資を運んだりした先輩達の精神は、本校の教育信条「汗と愛」として私たちにも受け継がれています。

